

# 尾瀬アヤマメ平山スキー報告

【山城】尾瀬・アヤマメ平

【日程と天気】2020年3月21日(土)晴れ

【メンバー】CL 菊池・鶴田・加藤・瀧瀬

【行程】

戸倉スキー場駐車場(1080m)7:40—富士見下—田代原—1786mP の北稜線—13:00 アヤマメ平(1970m 最高点)—北東斜面標高差 30m 滑走—アヤマメ平—14:15—登路稜線滑走—15:17 登山道ルート—田代原—富士見下—16:46 戸倉スキー場駐車場—帰葉



- ・尾瀬の山スキーは4月下旬から5月にかけての残雪期に鳩待峠から至仏山や御池から燧ヶ岳に毎年のように通っている。以前からそれ以前の時期に尾瀬沼やアヤマメ平への山スキー使用でスノーハイキングをしたいと憧れていた。

尾瀬燧岳の山岳天気予報で前日に20cm前後の降雪予報があったが当日の21日はかなりの高温予想、アヤマメ平から尾瀬ヶ原方面に少しでも滑走できればと考えていたが、登頂まで長時間を要し、アヤマメ平の平

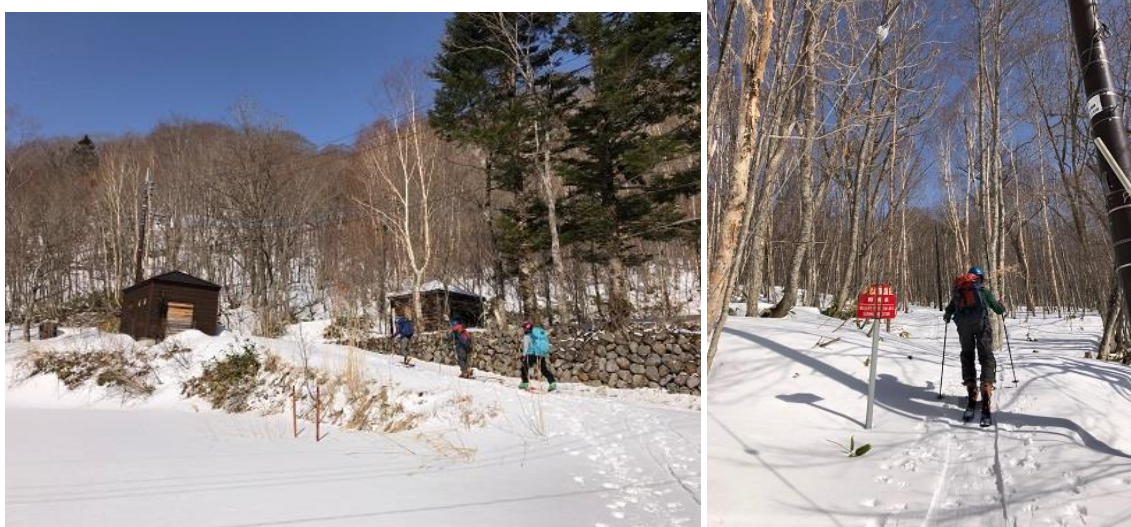


地はウインドクラスト気味、尾瀬ヶ原方向への滑走は諦めたが、尾瀬ヶ原が望む地点まで進むと、北東斜面には良質パウダー(25~30 cm) が温存されていた。メンバーの承諾を得て小生のみ素早く滑走準備して飛び込んだ。燧ヶ岳・尾瀬ヶ原を見ながらの素晴らしいパウダーテレマークターンをゲットでき、天にも昇る満足感をゲットできました。

- ・当初は蔵王刈田岳・栗駒山に1泊2日の予定であったが、コロナ関係でメンバーのキャンセルが続出し、中止して日帰りツアーで兼ねてから気になっていた尾瀬アヤメ平に行ってきた。戸倉スキー場駐車場 7:40 頃スタート、前日の降雪が薄っすら、道路を進むと間もなく雪が繋がっておりシール登行が始まりました。



富士見下に到着、スタートして 1:20 ほどの速いペースです。気持ち良いシール歩きにややハイペースで最高齢(81才)のTAさんが引っ張ってくれました。富士見下からは登山道ルートショートカットして進みます。



登山道ルートに戻ったりしながらの気持ち良いシール登行です。法面の残雪は少なく、田代原の手前で登山道ルートを離れ、先行トレースを辿り左の沢地形を進みます。右下の登山道ルートにハイカーが2名見えました。間もなく田代原(1520m)です。田代原に到着、尾瀬ブルーの下、真白なアヤメ平の稜線が見えテンションアップです。





ダケカンバ林をバックに、新雪でリセットされた芸術を楽しめました。標高 1530m の田代原、標高 1080m の駐車場から 2 時間半を要しました。

この辺までのネイチャースキー（スノーハイク）でも十分楽しめますね。ここで焼き肉・ワインパーティなんか素敵ですな！！





- ・行動食休憩の後、田代原を後にして素晴らしいダケカンバ林に入っていきます。登山道ルートに接する地点に建物(避難小屋か??)があります。この辺から左方向に進路をとりアヤメ平に向かう稜線に登り上げるべくルートファインディングします。



複雑な地形でルート取りが難しく、こんな急なトラバース登りまで経験させてしまいました。ようやく稜線に出て、しばらくは小さなアップダウンがあるものの、ほぼ水平なシラビソ林を進みます。傾斜が出てくる(1700m 付近) 手前で休憩し、アヤメ平に向かう標高差 250m 程の尾根を頑張ります。標高差 50m 位に地点まで来ました。最後の頑張りで、アヤメ平の真下の雪崩易い急斜面を覗き込みました。



雪庇の張り出した到達点に近づきました。左から巻いて登って行きます。単独のスキーヤー2名が滑走してきました。まあまあの滑走感のようです。皆さん頑張りました。あとわずかで登頂です。左手に見えるのは迫力の武尊山でしょうか。



・13:00 アヤメ平にとうちゃこです。スタートして5時間半ほどかかりました。無雪期の富士見峠経由の標準歩程は4時間半ほどですので、まあまあのペースでしょう。後に日光白根山が白く光っています。これは夏のアヤメ平で2016年7/11に鳩待峠から行った時の写真です。池塘がありその上に燧ヶ岳が見えます。



1970mの最高点を通過し、池塘位置の雪原を進み燧ヶ岳・尾瀬ヶ原が見下ろせる地点まで進みます。至仏山の方向はこんな感じです。尾瀬ヶ原が見下ろせ、燧ヶ岳が格好良く見える地点まで来ました。素晴らしい景色ですね。来てよかったと思える瞬間です。無雪期には池塘があり、ここまでは来ることはできず、この絶景は見る事ができないのです。満面の笑みで記念撮影しました。一人ひとり記念撮影、足下の良質パウダーが気になりま





す。時間的にも、体力的にも全員でこのパウダーを滑走するのは、無理のようです。諦めようと思っていました。そして欲求を抑えることができず、皆さんに許可を得てエントリーしました。北東に面した中急斜面、素晴らしい良質パウダーのテレターンに大満足です。マイシュプールを見て大満足です。今シーズンのラストパウダーランを毎週更新しています。まあ今回は最後でしょう！！



固い下地の急斜面エリアがあるため、クトーを装着してシール登高しました。標高差 30m 程の陶醉の世界は 15 分ほどで終了しました。





竜宮小屋方向の尾瀬ヶ原と景鶴山が見えます。竜宮小屋に泊まり景鶴山に山スキーで行くことが夢ですが・・・



・14:15、いよいよ登路を辿っての滑走開始です。雪底下のブロック雪崩の脇を通過します。



気温が高い日でこの辺はまだクラストしておらず、湿雪ながらまあまあの滑走感を味わえた。シラビソ林の樹間の広いエリアを気持ち良く滑走します。日陰になると横ズレしにくくなりやや難儀しました。登山道ルートに合流するべく、できるだけ斜度の緩い斜面を地図で確認しながら滑走しますが、日陰はクラストして難易度が増してきました。疲れた





身体を鼓舞しながら慎重に下りました。ターンしにくくスピードが出てしまうため、転倒しないようにゆっくり行動します。リアを気持ち良く滑走します。日陰になると横ズレしにくくなりやや難儀しました。マイシュプールを見ても横ズレしにくい状況が分かりません。ブナ三姉妹のこの地点で登山道ルートに無事合流しました。登りもこのポイントから入れば楽であったと反省(勉強になった)しました。



田代原に帰還してほっとしました。登山道ルートを滑って行きます。板が良く走ります。





富士見下部の車道は気持ち良くショートーンできました。朝の薄雪は消え、板を担いで歩いてフィナーレです。



戸倉スキー場はこの日積雪 50 cm で営業していましたが、そろそろクローズでしょう。高齢者メンバーのかなりハードな長時間の楽しいツアーでした。

- ツアーの GPS トラックを掲載します。ロングルートのため一枚では収まらず 3 枚になりました。









